



広島だより

広島自治会

会長 猪俣 武雄

8 0 2 - 2 3 9 1

「9月1日は防災の日、もう一度地震について考えましょう」

大きな被害と大勢の犠牲者を残した阪神淡路大震災から15年、東日本大震災から9年が過ぎました。最近、茨城県・千葉県で地震の発生が多いようです。

30年以内に震度6弱以上の地震が首都圏を襲う確率が70%以上と発表されてから数年が経ちましたので、その期間は短くなっているはずですね。

新型コロナウイルス感染の拡大が収まらず、間もなくインフルエンザ流行の時期を迎えます。

もし今、大地震が起きたら、あなたは、あなたの家族はどうするかをイメージトレーニングしてみませんか？ 今、何が必要かを考えましょう。

「イメージし易いように、具体的な想定を示します」

・令和2年9月3日（木曜日）天候は曇り。北西の風 1,5 m。日の入りは 18:10

16:15 房総半島で地震発生 マグニチュード 7,2 泉区の震度は6強
(東日本大震災・5強)

* 8月24日、日頃から地震の準備はしていますか？

- ・家具の転倒防止や、食器戸棚の開放防止（キャビネットストッパー）の取り付けは終わっていますか？
- ・非常用備蓄品（最低でも・家族数×3日分）の準備はしていますか？
- ・消火器は、点検しすぐに使える場所にありますか？
- ・非常持ち出し袋は準備してありますか？ 体温計やマスクも入れましょう

* 9月1日夕方。

- ・あなたは、今、あなたの家族は何处で何をしているか想像できますか？
- ・今、大きな揺れが襲ってきました、あなたはまず何をしますか？
 - ・落ち着いて、テーブルの下などに入り自分の身を守る
 - ・大きな揺れがおさまったら、あわてず火の始末、出火していたら初期消火を
- ・突然電気が消えた、間もなく夜になる、テレビもつかない、どうしよう？
- ・靴を履く（家の中には、ガラスや食器の破片が散らばっています）
- ・在宅家族の安全を確認、余震に注意
- ・家屋倒壊の危険を確認
- ・家族の安否確認。災害伝言ダイヤルの活用
- ・近所の住宅の安否を確認

『自分の行動は、イメージトレーニング出来ましたか』

『新型コロナウイルス感染症拡大が続く中、避難所では・・・』

「避難所とは、災害で住家を失った方が、一定期間入るための場所と定義されています」

＊中田中学校の避難所は

「広町自治会、中下自治会、中西町内会、根下自治会」の4町会が対象（約3000人）

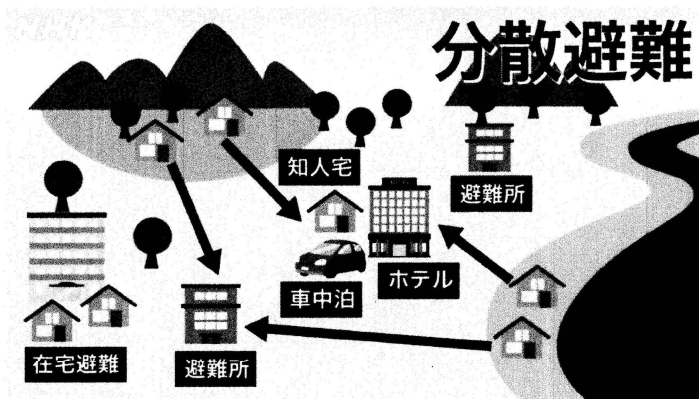
避難場所となる体育館の収用人数は約100人の予定ですが、現在はコロナウイルス感染症防止、3密（密閉・密集・密接）防止のため、半数以下の収容人数になると思われます。
発熱等体調不良の避難者がある場合には、もっと困難な状況が想像されます

「避難してきた人全員が入る事は出来ず、備蓄食料も該当地区の
住民全員に行き渡るものではないことをご理解下さい」

『避難所に行くだけが避難ではありません。』

難を回避する行動を考えましょう』

- ・横浜市では、分散避難と日常備蓄を推奨しています



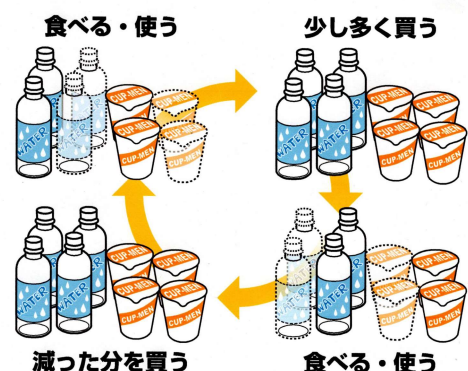
- ・避難所
- ・在宅避難
- ・親戚・友人宅避難
- ・車中泊避難

「自宅で安全確保が出来れば
在宅避難がベスト」

『日常備蓄とは』

- ・普段食べているもの10日分
- ・消費期限が切れる前に古いものから食べる
- ・買ったす

【災害用簡易トイレパックも忘れずに】



《広町防災訓練 9月6日 9:00~10:30》

同時に

災害時安否確認カードの掲示訓練を行います